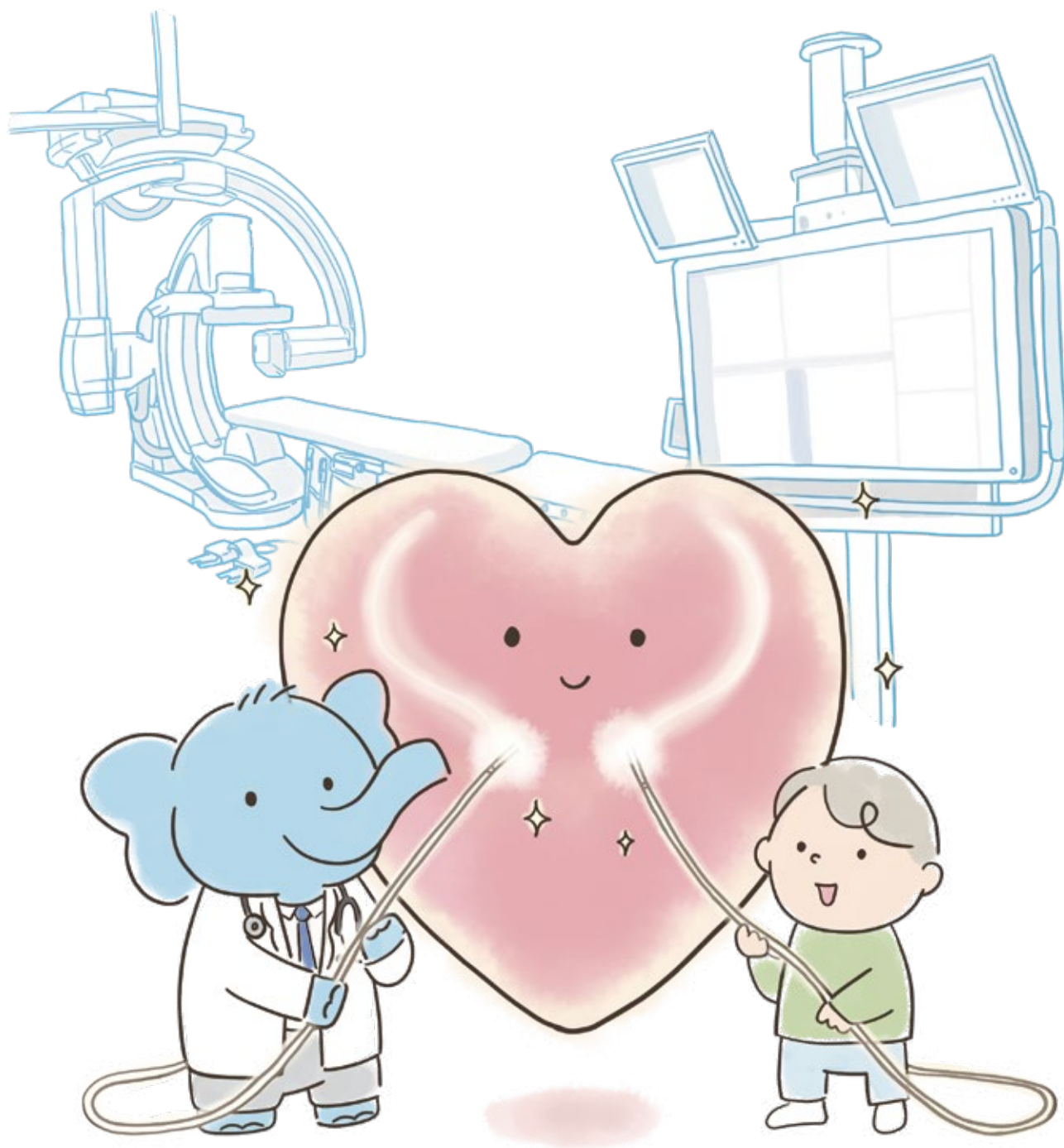


〔特集〕 不整脈とアブレーション治療



〔特集〕不整脈とアブレーション治療

心臓 循環器診療について



循環器内科 部長
循環器疾患センター 副センター長
おおにし とし なり
大西 俊成 医師

新たなピースが加わり 心疾患治療は次の段階へ

当院は、地域の急性期医療を担う病院として、心筋梗塞や心不全など緊急性の高い心疾患に多く対応してきました。心疾患は夜間や早朝にも起こりやすいため、急な症状にも速やかに対応できる体制が強みです。2026年7月からは、当院にとって新たな一歩となるアブレーション治療を開始。不整脈治療の幅を広げ、心不全を含む心疾患治療のさらなる充実と安全な医療の提供につなげていきます。

次世代の力を育て 循環器医療をつなぐ

循環器内科は、心筋梗塞や心不全など緊急対応を必要とする疾患が多く、現在の体制を支えるには十分なマンパワーが欠かせません。一方で、全国的に循環器内科医の不足が課題となっています。当院では2026年度から若手医師も加わり、次世代の育成に力を入れるとともに、女性医師を含め、誰もが無理なく働ける環境づくりを進めています。安定した急性期医療の提供をめざし、診療体制を守り育てていきます。

診療科クローズアップ

■ 循環器内科



心臓と血管を守る専門診療

当科では、狭心症・心筋梗塞などの虚血性心疾患をはじめ、心不全、不整脈、弁膜症などを診療しています。救急疾患に備え、24時間365日のハートコール体制を整備。心臓血管外科とは週1回のカンファレンスなどを通して連携し、外科的治療も含め、患者さんに適した治療方針を検討しています。

詳しい情報は、
公式ホームページを
ご覧ください。



脈の速さやリズムが乱れる不整脈。症状や種類によっては、心不全や脳梗塞につながることもあります。当院では新たに「アブレーション治療」を開始し、治療の選択肢を広げています。

こんな症状を見逃していませんか？

胸の痛みや圧迫感、動悸、息切れ、足や顔のむくみ、めまい・ふらつきなどは、心疾患のサインかもしれません。特に「以前はできていたことがしんどくなった」「歩く速度が落ちた」など、日常の小さな変化に気づくことが大切です。

動悸



息切れ



だるさ
疲れやすさ



検査方法

治療方針を決めるために欠かせない検査。必要に応じて複数の検査を組み合わせ、病気の原因や状態を詳しく調べます。

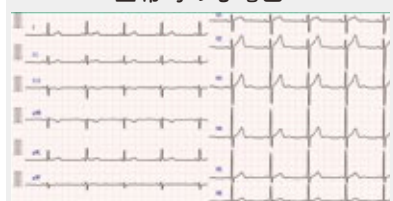
■ 心エコー図



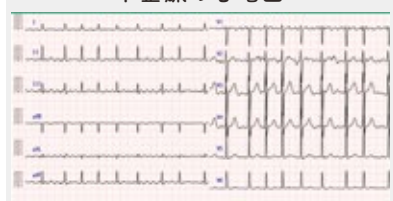
超音波を使って、心臓の動きや形を確認する検査です。痛みや体への負担が少なく、弁の異常や心臓に穴がないかなど、状態を詳しく調べます。

■ 心電図

正常時の心電図



不整脈の心電図



心臓から出る電気信号を記録し、脈の乱れや心臓への負担を調べます。不整脈の有無や、心筋梗塞などが疑われる変化を見つける手がかりになります。

診察で丁寧に
お話を聞き、
適切な検査や
治療につなげます。



治療方法

治療は身体への負担を考えながら、再発・悪化を防ぐため一人ひとりに適した方法を検討します。

薬物療法



高血圧や脂質異常症、心不全、不整脈などに対して薬を使用し、症状の軽減や病気の進行予防をめざします。

ペースメーカー治療



脈が遅くなる不整脈に対し、心臓へ電気刺激を送り、拍動を補う治療です。ふらつきや失神の改善を助けます。

心臓 リハビリテーション



運動療法や生活指導を通して体力の回復を促し、退院後も安心して暮らせるよう再発予防を支えます。

不整脈治療の新たな選択肢へ ▶▶▶



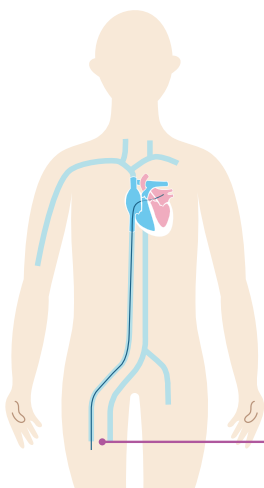
アブレーション治療とは？



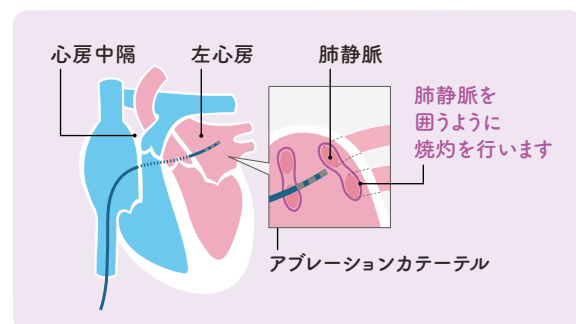
2026年7月より、新たに導入した「カテーテルアブレーション治療」。
気になる治療内容やメリットなどをご紹介します。

不整脈の原因に 直接アプローチ

アブレーション治療は、脈が速くなる不整脈に対して行う治療です。足の付け根などから細いカテーテルを血管内に挿入し、血管を通して心臓まで進めます。その上で、不整脈の原因となる電気の流れを調べ、原因部位を焼灼することで、脈の乱れを整えます。胸を開く手術ではないため、身体への負担を抑えた治療が可能です。



【心房細動に対するカテーテルアブレーション】



大腿静脈アプローチ

アブレーション治療のメリット

メリット
01

動悸や息切れなどの
不快な症状を改善
し、救急受診への不安や日常生活の負担を軽減。



メリット
02

薬物療法が難しい場合や副作用が懸念される場合にも、薬以外の治療の選択肢となります。



メリット
03

身体への負担を抑えやすく、治療後の早期離床や社会復帰をめざせることも特徴です。



安心につながる治療体制

心内心電図や3Dマッピングを確認しながら、原因部位を丁寧に探るアブレーション治療。
救急や集中治療、他科とも連携し、安全で精密な治療を行います。



カテーテル治療室

全身麻酔を用いて 治療中の負担を軽減

当院では、全身麻酔下でアブレーション治療を行う体制を整えています。治療中の痛みを感じにくく、眠っている間に治療を受けられることが特徴です。また、三次救急を担う病院として、救急や集中治療、他科との連携体制も充実。重症の患者さんにも対応できる環境を活かし、早期離床や日常生活への復帰をめざします。

不整脈専門医 網屋医師 にお話を聞きました！

判断に迷う不整脈こそ 早めの受診を

不整脈には、治療の必要がないものから、動悸などの症状で生活に支障が出るもの、脳梗塞や心不全につながるもので、さまざまな種類があります。自己判断が難しい病気だからこそ、健康診断で異常を指摘されたり、脈の乱れや動悸を感じたりした場合は、早めの受診が大切です。心電図などの検査を通して、まずは自分の状態を知ることから始めましょう。

安心して任せられる 不整脈治療をめざして

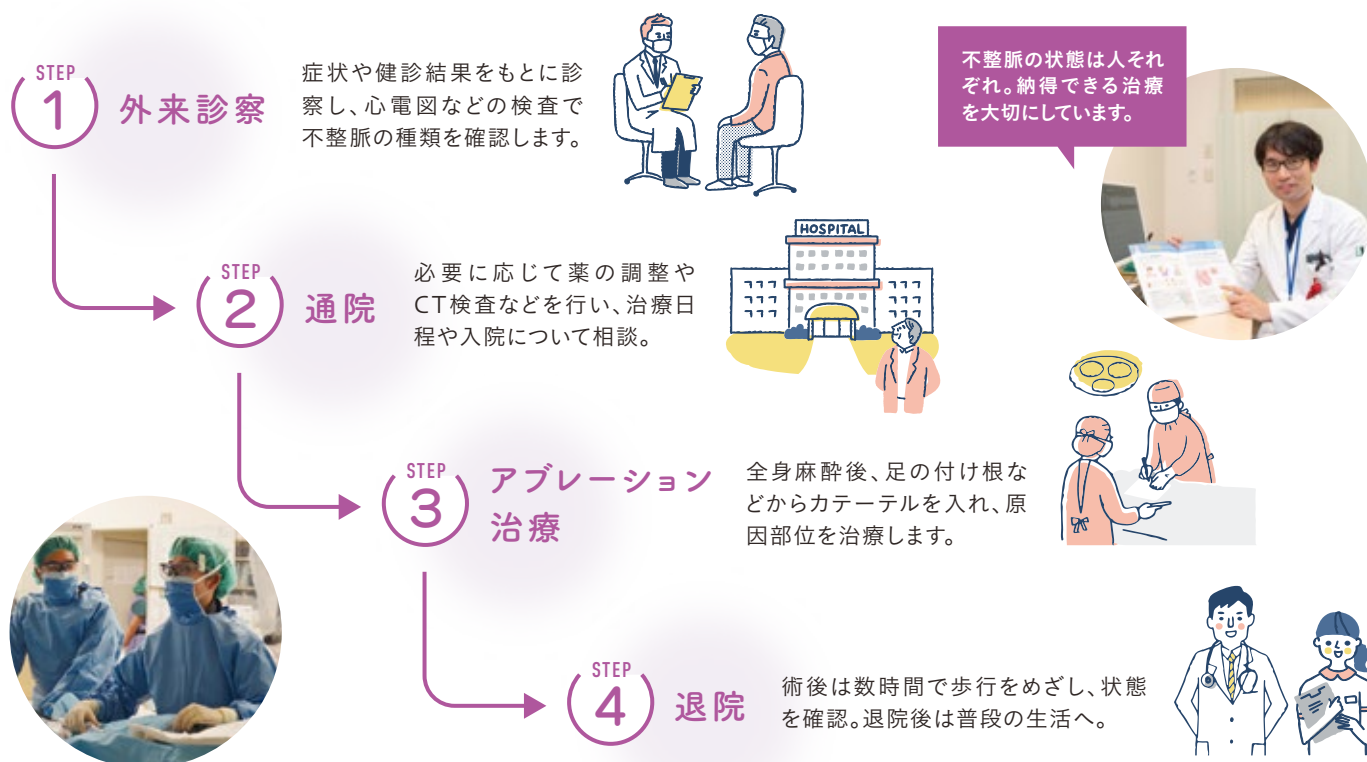
アブレーション治療は専門的な内容も多く、不安を感じる方も少なくありません。そのため、治療前には資料などを用いながら、方法や流れを丁寧に説明することを心がけています。当院では、まず高周波アブレーションから治療を開始。今後は施設認定をめざし、新たな治療機器の導入も見据えながら、安心して受けていただける体制を整えていきます。

循環器内科

あみ や りょう へい
網屋 亮平 医師

治療の流れ

不整脈の種類や状態により異なりますが、検査や薬の調整を経て治療日を決定します。入院は3泊4日～1週間程度が目安で、退院後は大きな制限なく日常生活へ戻れることが一般的です。



PICK UP

チーム医療で支える心不全ケア

退院後の暮らしまで

多職種で支えるサポートを

近年、心不全で入院した患者さんを、入院中から退院後まで継続して支える体制の重要性が高まっています。

当院では、専門医を中心に、看護師、薬剤師、管理栄養士、理学療法士、医療ソーシャルワーカーなど多職種によるチーム医療を実施。慢性心不全看護認定看護師や心不全療養指導士など、専門性の高いスタッフも在籍しています。服薬や食事、運動、生活上の注意点などを一人ひとりに合わせてお伝えし、退院後も安心して療養を続けられるようサポートしています。



Message

心不全看護外来も実施しています。医師には話しにくい不安や困りごとも、お気軽にご相談ください。



SUMMER

暑さに打ち勝つ！夏バテ対策

たんぱく質の豊富な食材を「足す」



ご飯



納豆

たんぱく質の豊富な食材に「変える」



味噌汁



具沢山の豚汁

ビタミンB1が豊富なメニュー例



豚しゃぶサラダ



うなぎ



冷や奴



枝豆

元気な夏は毎日の食事から

夏は暑さで食欲がわかず、食事を抜いたり、手軽な食事で済ませたりすることが多くなります。しかし、栄養が偏ると、夏バテや疲れを感じやすくなることも。身体に必要な栄養素をバランスよく摂るためには、さまざまな食品を組み合わせることが大切です。



夏に重要な2つの栄養素

1. たんぱく質

筋肉量の維持に関わる大切な栄養素。肉・魚・卵・大豆製品などを一品加えるのがおすすめです。

2. ビタミンB1

摂取した糖質をエネルギーに変える働きを助け、疲労回復にも関わります。豚肉や大豆、種実類などを取り入れましょう。



病院フェア2026を開催しました！



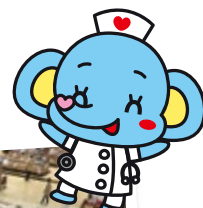
未来のために、今はじめよう

当院では、看護の日になみ、毎年5月にイベントを開催しています。今年もお子さまからご年配の方まで、多くの方にご来場いただきました。会場では、各種測定の結果をもとに、医療スタッフが健康のポイントをアドバイス。健診や各種検診の大切さを紹介したほか、屋外ではドクターカーの展示も行いました。お子さま向けの撮影コーナーや、当院マスコットキャラクター「エバちゃん」とのふれあいも実施し、医療や健康を身近に感じていただく機会となりました。ご来場いただいた皆さま、関係者の皆さまに心より感謝申し上げます。

測定結果から
健康のヒントを
お届け！



みんなで
健康について
考える一日に！



Event

開催日時

2026年5月10日(日)
11:00~15:00

開催場所

アリオ鳳 1階

イベント内容

【測定コーナー】

筋肉量・野菜摂取量・
血管年齢・血圧・握力の測定

【啓発コーナー】

人間ドック・検診受診案内・
パンフレット配布・
堺市啓発コーナー

【展示コーナー】

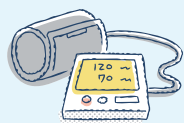
看護の仕事紹介ポスター・
健康新聞

【撮影コーナー】

キッズドクター／ナースに変身・
エバちゃんと一緒に・
ドクターカーに乗って

COLUMN

医療者に学ぶ健診結果の見方



見逃さない体からのサイン

健診結果の数値を、そのままにしませんか。

正しく読み解き、生活習慣病の予防や健やかな体づくりにつなげましょう。



医療者が見るポイント！

01

体重の変化×
BMI×総蛋白(TP)

血液中の蛋白の数値が下がると、低栄養の可能性があります。BMIが18.4以下の場合、筋肉量の減少にも注意が必要です。

Advice

タンパク質を多く含むお肉、お魚、豆腐、卵を意識して食べましょう。

02

血圧値×
LDL-C×HDL-C

LDL-C(悪玉コレステロール)、HDL-C(善玉コレステロール)、血圧値から、血管の状態を確認できます。数値の乱れは、動脈硬化につながります。

Advice

油ものは控えめに、野菜は多めに。家庭で使う油の種類も見直しを。

03

体重の変化×BMI×
中性脂肪(TG)×ALT(GPT)

TGが高いと、内臓脂肪の増加や脂肪肝の原因に。肝臓の指標となるALTも高い場合は、食べ過ぎや飲酒量の影響が考えられます。

Advice

食事量、飲酒量、体重の変化を合わせて見直し、生活習慣改善のヒントに。

健診結果は…

BMIや血圧値と血液データを
組み合わせて見る！

BMI・
血圧値

血液
データ



ACCESS

病院へのアクセス

送迎バス



堺区・南区方面に送迎バスを運行中！

1日の
運行本数

【堺区ルート】19本／日
【南区ルート】8本／日

運行日

平日のみ

乗車料金

無料

※スマホから送迎バスの位置情報を確認できます。詳しくはホームページをご確認ください。



電車



JR阪和線津久野駅 徒歩約5分

バス



中もず駅前、石津川駅前、深井駅、泉ヶ丘駅、若竹大橋、榎・美木多駅、堺東駅前
上記の南海バス停留所から、堺市立総合医療センター行きのバスをご利用ください

車



阪和自動車道「堺IC」より10分

阪神高速道路15号堺線「堺出口」高架道を出口まで進み、国道26号線より15分



地方独立行政法人 堺市立病院機構

堺市立総合医療センター

SAKAI CITY MEDICAL CENTER

〒593-8304 大阪府堺市西区家原寺町1丁1番1号

TEL.072-272-1199

<https://www.sakai-city-hospital.jp/>